

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2026年 No.5

高温期における輸送中の貨物車両火災等の事故防止

夏の高温期を迎え、気温の上昇や強い対流性気象の発生頻度の増加に伴い、輸送中の貨物車両における車両火災や貨物の水濡れ事故が多発する時期となります。車両火災は多額の財産損失をもたらすだけでなく、貨物車両の運転者の生命・身体に重大な危険を及ぼすおそれがあります。

本稿では、車両火災および貨物の水濡れ事故が発生する主な要因と、その防止対策について整理しました。物流関連企業および運転者の皆様における事故防止対策の参考としてご活用ください。

1、貨物車両における主な事故原因

過去の事故データから、輸送中の貨物車両で発生した火災および貨物の水濡れ事故について、主な原因を以下の 6 項目に整理しました。

No.	事故の原因	概要
1	タイヤ火災	<ol style="list-style-type: none"> 頻繁なブレーキ操作によりブレーキドラムの温度が急激に上昇し、制動効果が低下する、蓄積した熱によりタイヤへ着火するおそれがあります。 タイヤのバーストもタイヤ火災の原因の一つであり、バーストしたタイヤが路面や隣接するタイヤと摩擦することで着火し、タイヤ火災に至るおそれがあります。 車速超過、過積載などにより、タイヤ温度が過度に上昇し、火災が発生するおそれがあります。 過積載により車体が沈み込み、タイヤと車体が接触・摩擦することで、過熱し火災が発生するおそれがあります。
2	電気配線の劣化	<ol style="list-style-type: none"> 配線の劣化および短絡: 車両の長期使用により電線の絶縁被覆が劣化・摩耗し、高温環境下では短絡が発生し、火災につながるおそれがあります。 不適切な改造および不適切な電気使用: オーディオ設備やバッテリーを無断で改造するほか、運転席内での配線による充電、大容量インバーターの増設、電線の不適切な配線は、接触不良や過負荷を引き起こし、電気火災の原因となるおそれがあります。
3	燃料漏れ	<ol style="list-style-type: none"> 燃料系統からの漏れ: 燃料ホースの経年劣化や損傷により燃料がにじみ出たり漏れいしたりすると、エンジンルーム内の高温部に接触し、瞬時に着火するおそれがあります。 車両内で燃料が漏れいた状態では、点火時に発生する高電圧スパーク、バッテリー端子で発生するアーク、エンジンの排気管の高温部や排出されるカーボン粒子の火花などにより、火災が発生するおそれがあります。
4	可燃物の着火	<ol style="list-style-type: none"> ダッシュボードなど直射日光が当たる場所に、ライター、車載用芳香剤、エアゾール式芳香・消臭剤などの可燃物を放置すると、熱により膨張・破裂し、車両火災につながるおそれがあります。 運転席内に保管したリチウムイオンモバイルバッテリーは、高温環境下で膨張し、最悪の場合には発火・破裂するおそれがあります。
5	喫煙	<p>運転中の喫煙や、火が完全に消えていない吸い殻の投棄、高温の灰が可燃物に接触することにより、火災が発生するおそれがあります。</p>
6	雨水による貨物の水濡れ	<ol style="list-style-type: none"> コンテナ上部の破損や雨漏りにより、コンテナ内の貨物が雨水に浸かるおそれがあります。 貨物の積替えや荷卸し時に、屋外での積卸し、開梱、仕分け作業を行うことで、段ボール箱や貨物が直接雨にさらされるおそれがあります。 作業場所の雨よけ設備の不足、防水シートの備蓄不足、防水シートの破損や雨漏りなどにより、貨物が水濡れするおそれがあります。

2、事故防止対策

貨物車両の火災および貨物の水濡れ事故を防止するため、以下の表に6つの事故原因ごとの対策のポイントを整理しました。社内点検時の参考としてご活用ください。

事故の原因	防止対策
タイヤ火災	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車両の種類や使用条件に応じて適切なタイヤを選定すること。高強度ナイロンコードを使用したタイヤを採用することで、タイヤの耐荷重性能を向上させることができます。 ✓ 同一車軸に装着するタイヤは、同一規格・同一トレッドパターンのもを使用し、車両メーカーが指定する規格に適合させること(同一メーカー、同一サイズなど)。 ✓ タイヤ空気圧を定期的に点検し、適正な空気圧を維持すること。空気圧は指定値を下回らないよう管理し、上限についても指定空気圧より20~30kPaを超えないようにすること。 ✓ 積載重量は車両の最大積載量を厳守し、過積載を行わないこと。タイヤの定格荷重を超えると、バーストやタイヤ火災の原因となります。 ✓ 『自動車運行安全技術条件(GB 7258-2017)』を参考に、トレーラーのタイヤはトレッド溝の深さが1.6mm未満となった場合、速やかに交換すること。 ✓ 運行前、特に長い下り坂を走行する前には、ブレーキ冷却用散水装置を点検し、散水用タンクの水量が十分であることを確認すること。ブレーキ時にはタイヤを適宜冷却し、高温状態での走行を防止すること。また、車内で焦げ臭いにおいや樹脂が焦げたようなにおいを感じた場合は、直ちにタイヤおよびブレーキパッドの状態を点検すること。 ✓ 長距離運転時は、3~4時間ごとにサービスエリア等で休憩を取り、タイヤおよびブレーキパッドの温度を確認するとともに、必要に応じて冷却を行うこと。
電気配線の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電気設備を無断で増設したり、車両の電気配線が無断で改造したりしないこと。 ✓ エンジンルーム内の電気配線をはじめ、バッテリー、排気管など、火災が発生しやすい箇所を全面的に点検すること。 ✓ 車載消火器は有効期限内のものを備え付け、圧力が正常であることを確認すること。
燃料漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日常点検および保守を徹底し、燃料、ブレーキフルード、エンジンオイルなどの液体に漏れやにじみがないか定期的に確認すること。 ✓ 日常点検時には、燃料ホースに緩み、亀裂、劣化がないかを入念に確認し、異常を発見した場合は速やかに燃料ホースを交換すること。 ✓ 車両の始動前や走行中に車内でガソリン臭を感じた場合は、速やかに安全な場所へ停車し、車両下部に燃料漏れの痕跡がないか確認すること。
可燃物の着火	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車内には、ライター、香水、エアゾール缶、ガソリン、アルコール、溶剤などの可燃物を放置しないこと。 ✓ モバイルバッテリー、電池、バッテリーを内蔵した電子機器、缶飲料などは、直射日光の当たる場所に放置しないこと。
喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 貨物車両内は全面禁煙とし、運転席内では喫煙しないこと。 ✓ 休憩のために車外へ出る際も、貨物の周辺では喫煙しないこと。 ✓ 吸い殻は火が完全に消えたことを確認したうえで廃棄すること。
雨水による貨物の水濡れ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一時的な積替えや荷卸し時は、貨物を屋内または雨よけ設備のある場所へ保管すること。 ✓ 気象警報・注意報が発表された際は、荷卸した貨物を速やかに防水シートで覆うか、雨よけ設備のある場所または屋内へ移動すること。 ✓ 出発前に、コンテナの天井、側板、扉および床面について、穴あき、腐食孔、亀裂などの異常がないか点検すること。

3. 緊急時の対応のポイント

運転者が車両火災を発見した場合は、落ち着いて行動し、「人命を最優先し、車両はその次」との原則に基づき、以下の3つのポイントに従って初動対応を実施してください。

1. 安全な場所へ停車し、エンジンを停止する	走行中に炎や黒煙を確認した場合は、速やかに安全な場所へ停車し、直ちにエンジンを停止してください。エンジンを停止することで燃料ポンプへの電源が遮断され、燃料の供給を抑制し、火災の拡大を防ぐことができます。
2. 初期消火の実施する	被害を最小限に抑えるため、火勢が小さく初期消火が可能な場合は、自身の安全を確保したうえで火災の状況を確認してください。出火箇所を確認できた場合は、車載消火器を使用し、正しい手順で火元に向けて消火剤を放射してください。
3. 速やかに救援を要請する	火勢が大きく、自力での消火が困難な場合は、速やかに現場から安全な場所へ避難し、その後、122番または119番へ通報し、救援隊の到着を待ってください。無理に消火を行わないでください。

夏季に輸送業務を開始する前に、運転者の方は上記のポイントを参考に車両の総点検を必ず実施することをお勧めします。また、車載消火器を備え付け、有効期限内であることを必ず確認してください。走行中は、異臭や発煙など車両火災の前兆がないか十分に注意しつつ、前方確認や車間距離の確保、速度遵守など安全運転に努め、事故防止を心がけてください。

執筆 インターリスク上海 コンサルティング部 高級経理 楊奥

瑛得管理諮詢（上海）は、中国・上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）

上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心34楼T10室-2

TEL: +86-(0)21-6841-0611（代表）Email: inquiry@inter-shanghai.com.cn

